



3月3日はひなまつり ひなまつりの起源のおはなし



桃の節句 ひな祭り



一般的に、3月3日は女の子の誕生と健やかな成長を願う「ひな祭り」ですが、正式には「上巳の節句」（じょうし）と言い、「桃の節句」とも言います。

ひな祭りがいつ始まったのか、起源ははっきりしていませんが、平安時代、貴族階級の子供たちの間で、「ひいな遊び」が流行っていました。現在で言うおままごのようなものです。

「ひいな」とは、「小さくてかわいらしいもの」という意味があり、ひいな遊びで使われた人形は人の代わりに厄をうけてくれると考えられ、厄払いの流し雛として川や海に流されるようになりました。これが「ひな祭り」の由来と考えられています。そして江戸時代中期には女の赤ちゃんが誕生したことを祝う初節句の風習が生まれ、ひな祭りはますます盛んになりました。もともとは、無病息災を願う厄払いの節句でしたが、女の子の誕生や健やかな成長を祝うお祭りへと変化していったのです。ひなまつりの食べ物にも、色々な意味があります。

「ひなあられ」はピンク、緑、黄色、白の四色のあられで、四季を表していて、「一年間、女の子が幸せに過ごせるように」という願いが込められています。「菱餅」は上からピンク、白、緑の三色で、ピンクは「魔除け」、白は「清浄、純潔」、緑は「健康」という意味があります。「雪（白）の下に新芽（緑）が芽吹き、雪（白）の上に桃の花（ピンク）が咲いている」という事で、春を表現しています。「ちらし寿司」は、えびは「長生き」、豆は「まめに働く」、レンコンは「見通しがきく」など縁起の良い具が使われます。

「はまぐりのお吸い物」は、はまぐりの貝殻は対になっている貝殻でなければぴったりと合わないことから、仲の良い夫婦を表し、一生一人の人と添い遂げられるようにと願いが込められています。それぞれに意味があって、願いが込められていることを知ると一層女の子の成長をお祝いする気持ちが深まります。最近はなかなかお雛様を飾る習慣が減ってきていますが、後世に残して行きたいですね。



【ホワイトデー】～極上の生ガトーショコラ～



ホワイトデーのお返しに、パティスリーエソールのなめらかな口当たりで、しっとりとろける極上半生ガトーショコラはいかがでしょう？

フランス産の「ヴァローナチョコレート」、北海道産クリームを使用して、奥深い味わいを引き出しています。小麦粉を一切使わないグルテンフリーのガトーショコラの濃厚な味は至福のひとつを過ごせます。



みちのくの里 エソール

検索



FROM-ZERO 通信は弊社のお取引先の皆様には毎月配布させていただいている情報誌です。



office

ZERO

株式会社 オフィスゼロ

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字下町 128

<http://www.office-0.co.jp/>

TEL 024-962-4709 FAX 024-962-4710



Web サイト スログ